



# 社会貢献の推進

http://www.nichirei.co.jp/corpo/env/env2010/society/society\_01.html

ホーム > CSRレポート2010 > 社会のために

## 社会貢献基本方針

わたしたちニチレイグループは、企業市民として広く社会から信頼される企業でありたいと考えます。わたしたちは、素材を見きわめ、おいしさと健康を創り出し、安全で効率的な物流を通じて社会に貢献します。さらに、事業活動以外の分野においても自らの誠意と共感と使命感に基づき、社会貢献活動を行います。わたしたちは、この考え方にに基づき、食や物流に関する教育、地域貢献、環境保護、災害支援、スポーツ支援を中心に、積極的な社会貢献活動に取り組みます。

## 2009年度の活動

	新規	継続
食や物流に関する教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>食育活動               <ul style="list-style-type: none"> <li>「とちぎ 食と農ふれあいフェア2009」来場者の方々に「冷凍食品作り体験」を実施</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>食育活動               <ul style="list-style-type: none"> <li>「キッズツアー 体験！工場見学」自工場の周辺地域の小中学生を対象にした工場見学を実施</li> <li>「食育推進全国大会」味覚と嗅覚の相互関係を体験するワークショップを実施</li> <li>「親子で楽しく食育体験」野菜をテーマにしたプログラムを実施</li> </ul> </li> <li>校外学習               <ul style="list-style-type: none"> <li>(株)ニチレイ・ロジスティクス四国 高松東物流センター、(株)ニチレイ・ロジスティクス九州鹿児島埠頭物流センター他、各地の物流センターにて小中学生の校外学習受け入れ</li> </ul> </li> </ul>
環境保護	<ul style="list-style-type: none"> <li>岩手県一関市室根山の植林</li> <li>東京湾うるおいの森の植林</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>白石蔵王地区の植林</li> <li>※その他の活動はホームページに掲載</li> </ul>

## 今後の取り組み

企業市民として、事業特性を活かした「食や物流に関する教育」、「地域社会と結びついた環境活動」といったニチレイグループらしい社会貢献活動を継続し、モニタリングと活動の共有を推進する。

NICHIREI

## 環境社会貢献活動

### 植林活動への取り組み

ニチレイグループでは、森林の保全や植林活動によるCO<sub>2</sub>削減や地域自然保護活動に取り組んでいます。従業員自らの実体験やコミュニケーションを通じて、共感を得ることが重要と考えています。

ニチレイフーズ白石工場では、毎年6月に有志社員35名がボランティアとして、NPO法人「蔵王のブナと水を守る会」の植林事業に参加。NPO法人と白石市が南蔵王山麓の荒廃地を共同で買い取り、植林を続けて緑の森を復元する活動に貢献しています。

ニチレイフレッシュでは、新人研修の一環として岩手県・室根山での植林活動に参加しています。地域の方々と一緒に植樹することを通じ、環境配慮の気持ちと、共同作業の重要性を学んでいます。

ニチレイプロサーブでは、東京都庁、NPO法人、企業の3者が協働する都内保全地域の自然保護活動「東京グリーンシップ・アクション」の一環として、2007年度より東久留米市の下草刈りに参加しています。また、2009年度は「東京湾にカブト虫の育つ『うるおいの森』を作る活動」に協力し、江東区若洲地区周辺の植樹に参加。

カブト虫の森として、従業員が家族と一緒にクヌギ、海岸植生種のマテバシイ、タブノキ等を植樹しました。これらの活動は今後も継続していきます。



南蔵王山麓の植林活動の様子



ホームページでは、さらに下記の内容を掲載しております

- 地域清掃活動(ロジネット東村山DC他)
- 社有地の有効利用(小笠原諸島の公園)
- フードバンクへの寄付
- TABLE FOR TWOへの参加
- 寄付活動
- リングプル収集活動
- PETボトルキャップの回収
- 難病患者への支援
- ミャンマーの病院などへ検査薬の提供
- スポーツ支援
- 外国人留学生の見学受け入れ
- 学生のインターンシップ

## 食や物流に関する教育

### キッズツアー

ニチレイフーズの国内6カ所にある自営工場では、周辺地域の小中学生を対象に「キッズツアー 体験！工場見学」を行っています。ニチレイフーズの概要説明をはじめ、工場を見学しながら冷凍食品の製造工程を学んだり、冷蔵倉庫で「冷凍温度」を体感する体験型プログラムを基本として、各工場が工夫を凝らし様々な企画を提供しています。

ニチレイフーズ森工場では、年間45件のキッズツアーを開催。工場見学や製品冷凍庫体験のほか、コロケ手作り体験などを通して、子どもたちに冷凍食品の作り方や、作りたてのおいしさを体感してもらいました。

また、近隣学校への出前授業も実施しています。授業では、世界の食糧事情や日本の食料自給率などをわかりやすく説明し、子どもたちと一緒に食物の大切さについて考える機会を提供しています。

### 食のワークショップ

ニチレイフーズは、「笑顔のあふれる食卓」を目指して、「食で人々のカラダと心を健康にしたい」をスローガンに、各地域で行われる食育イベントに参加しています。特に五感を使った体験型のワークショップを積極的に展開。食に関する様々な体験機会を提供することで、食に関する知識と、食を選択する力を皆様に習得していただくことを目標に、多様な活動を展開しています。

その一環として、毎年、食育月間である



「とちぎ 食と農ふれあいフェア2009」

6月に行われる内閣府主催「食育推進全国大会」に参画しています。2009年度は、鳥根県松江市で開催された第4回大会に参画。果汁飲料を試飲しながら、味覚と嗅覚の相互関係を体験するワークショップを開催し、多くの来場者の方にご参加いただきました。

2009年8月には、関東農政局主催「親子で楽しく食育体験09～お米倉庫探検隊～」に参画。「野菜を食べよう」をテーマにしたプログラムを実施し、野菜摂取量や摂取方法への理解を深めました。

また、ニチレイフーズ宇都宮支店では、2009年10月に栃木県で開催された「とちぎ 食と農ふれあいフェア2009」に(財)栃木県学校給食会と共同参画し、冷凍食品製造の体験を行いました。ここでは温かい炒飯とスノードライアイスを使用して、自ら冷凍食品を作るユニークな企画を提供し、大変多くの方が冷凍前後での食品の温度変化や瞬間的に食品が凍る様子を体験され、冷凍食品への関心と理解を深めてくださいました。

### 校外学習

ニチレイロジグループでは、周辺地域の中学生を中心とした校外学習を、積極的に受け入れています。

(株)ニチレイ・ロジスティクス九州の鹿児島埠頭物流センターでは、九州運輸局主催の中学生社会科見学として、2009年7月に、谷山北中学校の30名を受け入れました。当日は物流センターと隣接するパシフィックグレーンセンター(株)を交代で見学。お茶を保管する-5℃の倉庫とマグロを保管する-50℃の超低温倉庫の比較観察をはじめ、超低温庫内で濡れタオルやバラの花びらが変化の様子を観察する実験を行い、子どもたちの関心を高めました。

また、(株)ニチレイ・ロジスティクス四

国の高松東物流センターでは、2007年度から毎年中学生の体験学習に協力。2009年度は10月に中学2年生4名を受け入れました。冷蔵倉庫内の保税蔵置場に保管している輸入貨物や、低温荷捌場での仕分作業を見学して、普段は見ることのない物流の仕事を手近に感じていただくきっかけを提供しました。来年以降も継続して協力していきます。



鹿児島埠頭物流センターでの校外学習



高松東物流センターでの校外学習

**voice**

株ニチレイ・ロジスティクス九州  
都城物流センター  
**中山 嘉夫**  
(2010年4月に鹿児島  
埠頭物流センターより転動)



**冷** 蔵倉庫内見学の他に、超低温でバラやハンカチが瞬時に凍結する様子も見学してもらいました。見学後、瞬時に物が凍る様子と、体験したことのない冷凍庫内の寒さが強く印象に残ったとの声をたくさんいただくことができ、冷蔵倉庫の仕事がどういったものなのか知ってもらい良いきっかけ作りが出来たのではないかと感じています。

また、(株)ニチレイ・ロジスティクス四